

## 鳥取駅北口広場再生計画（案）パブリックコメントの実施結果について

平成21年1月29日  
景観まちづくり課

鳥取駅北口広場（駅前広場）は、高架事業の一環として昭和55年に整備され、鳥取市の玄関として、また、中心市街地の緑豊かな空間として県民、市民に長く親しまれています。しかしながら整備後28年を経過し、ケヤキ広場が利用しにくいなど再整備を望む声も高まってきていました。

そこで県と鳥取市では「鳥取駅北口広場あり方検討委員会」を設置し、様々な立場から課題や問題点を検討し、検討段階の改善策を実際に体感していただくため、8月に社会実験を実施し、併せて利用者や市民の皆様からたくさんのご意見をいただきながら、都市施設としての改善策を検討してきたところです。

このたび、鳥取駅北口広場再生計画（案）に対するパブリックコメントを実施しましたので、その結果下記のとおり報告します。

### 記

#### 1 意見募集期間

平成20年12月22日（月）から平成21年1月16日（金）まで

#### 2 周知・応募方法

##### (1) 周知方法

- ・ 県景観まちづくり課、鳥取市都市計画課、県庁県民室、東部総合事務所県民局、県立図書館、鳥取駅、鳥取バスターミナルにチラシを配置
- ・ 鳥取県ホームページ「とりネット」、鳥取市ホームページに意見募集のページを掲載
- ・ 報道機関への資料提供、新聞お知らせに掲載（12/25 掲載）
- ・ 鳥取市報掲載（1月号）及びNCN ピョンピョンネットでのテロップ放映

##### (2) 応募方法

郵送、ファクシミリ、電子メール、応募用専用フォーム、意見提出箱への投函

#### 3 提案件数（カッコ内は応募者数）

以下のとおり、23の個人又は団体から83件の意見をいただきました。

	専用フォーム	電子メール	ファクシミリ	郵送	窓口	その他	合計
県	49 (12)			1 (1)		5 (1)	55 (14)
鳥取市		8 (2)			7 (3)	13 (4)	28 (9)
計	49 (12)	8 (2)		1 (1)	7 (3)	18 (5)	83 (23)

※その他は電話等

#### 4 応募意見の反映状況

応募意見の反映状況は以下のとおりです。

対応の種別	意見の数	分類
・既に盛り込み済みの意見	15	盛り込み済
・実施に向け検討する意見（実施設計で検討）	23	実施検討
・今後の検討課題とする意見（長期的な検討課題）	5	長期課題
・対応困難な意見	21	対応困難
・その他の意見（ソフト施策に係るもの、北口関係以外のもの）	19	その他

【意見の概要と回答・対応方針】

意見の概要	回答・対応方針	分類
<b>■バス、バスターミナル</b>		
(1) JR鳥取駅からバスターミナルへの移動について 再生計画案では「屋根つき歩道」が新設されるそうですが、イメージ図では、車道横断部に屋根がありません。 積雪時・降雨時の歩行者通行に配慮し、車道部にも屋根を設置されたい。	車道部に屋根を設置するには高さ4.5m以上が必要であり、横からの吹き込みで実質的に機能しないことから設置は考えていません。	対応困難
(2) シャミネからバスターミナルへのアーケードはバスの通路上も設置をお願いしたい。	同上	対応困難
(3) バス乗場案内をわかりやすく	バス乗場を含めた駅前広場周辺施設の案内表示を改善することとしています。 (バスターミナル内の乗場案内は今回の検討対象外としています)	盛り込み済
(4) バスターミナルから地下道を結ぶ歩道にある植栽を撤去して、歩道を広く使えるようにする	バス降車場のシェルター設置に併せて実施設計で検討します。	実施検討
(5) バスターミナル横の6個の植樹帯を撤去し乗降場を一体化するべき。	同上	実施検討
(6) バスセンターの建物自体に大型の表示(看板or電飾表示)の設置をすること。(最低2面は必要)	バスターミナルの建物は鳥取バスターミナル株式会社が所有しています。ご意見をお伝えします。	その他
(7) 大型の投資になるが(長期的に考慮)シャミネ商店街2階よりセンター建物に向け空中通路を設置。中間にあるプラットフォームにもエスカレーターを設置し、バスセンター用地の有効活用をはかる。	空中通路の設置には多くの費用に係るため、今回の計画では検討を行っていません。	対応困難
(8) バス乗り場がわかりにくいことへの対応は、見やすい案内標示を多く設置することでかなり改善される。	バス乗場を含めた駅前広場内施設や駅周辺施設への案内表示を改善することとしています。	盛り込み済
(9) バス降車場の雨よけの屋根について、アーケードと繋げるなどして、連続したものとして欲しい。	県道沿いの2箇所のバス降車場の利用状況から実施設計においてシェルター(雨よけの屋根)の設置場所を検討します。	実施検討
(10) 民間用と業務用(タクシー、大型バス他)にエリアを分割 ・民間用に旅館組合の送迎バスが駐車できるスペースを設置する(送迎車の駐車場がない) ・鳥取駅は(岩井、吉岡など)二次交通の基点であり、観光客の送迎を優先的に考えて欲しい	今回の計画案ではバスターミナルの抜本的な改善は長期的課題としており、当面、送迎・観光バスの駐車スペースについては南口の利用をおねがいします。	長期課題
<b>■タクシー・自家用車</b>		
(11) 駅の正面出口にある「タクシー待機所」の位置を「バスターミナル西側」に移設し、「バスターミナル乗降場所を駅正面」に移設する。合わせて、「タクシー乗り場(北口・南口)」と「タクシー待機所」をモニターテレビ等でつなぎ乗車に連動した待機所→乗り場へ移動をする。	バス乗降場の移設による駅からの移動距離の短縮については、長期的課題としてバスターミナル建物の建替え時等に検討を行いたいと考えています。	長期課題
(12) 北口駐車場について 駅利用(切符の購入等)でよく活用しています。東側駐車場は遠く感じていますし、また、20分無料は切符を買う時間として十分と思っています。自動車整理場としても違法駐車が増え現在より車が入りづらくなるのではないかと考え	再生計画案では自家用車とタクシーの混雑解消のため自動車整理場部分に自家用車の乗降スペースを増設、20分無料の駐車場としての機能を風紋広場東側の駐車場に移設することとしており、長	実施検討

ます。 *秋頃の実験で東側駐車場が一時期無料（一定時間）となっていました。終了後に無料と思って入ったら有料でした。実験を行うことは必要と考えますが、利用者に実験が終了したというメッセージを一定期間キチット伝えることも必要と感じました。	時間駐車には警察と連携して対応したいと考えています。 なお、実験終了後の告知に不備があったことにつきましては深くお詫び申し上げます。	
(13) 20分無料の駐車場は切符を買ったり、高速バスの迎いに利用しています。風紋広場の東側の駐車場では遠く不便ですので、なくさないでください。この駐車場をなくすほうが長時間の駐車を誘発して混雑を招くのではないのでしょうか。	同上	実施検討
(14) 観光者が駅を出て駐車された車をたくさん見るより、自家用車駐車スペースはケヤキ並木等にして、逆に森が多いようなイメージ（冬場はイルミネーションにて活性化）にされてはいかがでしょうか？	自家用車による送迎も多いことから、乗降用スペースの確保は必要と考えています。また、タクシープールや駐車場付近への落葉樹の植栽は、落ち葉の清掃等、維持管理上好ましくないため、新たにケヤキの植栽は行うことは考えていません。	対応困難
(15) 身障者用駐車スペースの設置に伴う確実な運用の決定をして欲しい。 →身障者用以外の無断駐車に対する罰則等	現状においては罰則等を設けることは考えていませんが、適正な利用が妨げられるような状況があれば対応を検討する必要があると考えます。	その他
(16) タクシー待機台数を少なくして、スペースの有効活用	タクシー待機場の規模は乗降客数の規模から県内主要駅と比較して概ね適正な規模であり、縮小は考えていません。	対応困難
(17) タクシープールの待機車両が多すぎると感じるの、待機場を縮小して自家用車置場と使えるようにする	同上	対応困難
(18) タクシープールの台数を減し一般車両の駐車場にした方がよい。	同上	対応困難
(19) タクシーの常時滞留台数が多すぎる。	同上	対応困難
(20) タクシープール両側の植栽は、全部撤去した方がよい。 (維持管理経費節減のため)	計画案では、樹木の成長管理や見通し確保に必要最低限の植栽の撤去・移設を計画しています。タクシープール両側の植栽は改善策の支障となっていないため撤去を考えていません。	対応困難
(21) 風紋広場東側の駐車場は出入口の市道が混雑するので駐車場はやめて広場などにしたほうがよい。	風紋広場東側駐車場部分への広場等の設置は考えていませんが、駐車場の利用状況を見て混雑への対応を検討したいと考えています。	長期課題
(22) 鳥取にきて、一番思うことは、交通網が完備されていないにもかかわらず、駐車場が少ない事です。せっかく商店街とかがあっても、車置くところがないしな～ってことで、つい行かなくなってしまう。まず駐車場の完備を試みてほしいと思います。	現状として駅周辺には2500台程度の時間貸し駐車場がありますので、まずは駐車場案内や割引サービスなどのソフト対策の充実を図ることが重要と考えます。今回の検討対象である北口広場内に新たに駐車場を整備することは考えていません。	その他
(23) 出迎え用自家用車の滞留スペースを確保されたい。	送迎用の停車スペースを8台分確保する計画としています。	盛込み済
(24) タクシー乗り場は現在地から変更するほうがよい。現在	タクシーは地理に不案内な方や身体の	対応困難

地はくくり専用の乗り場とする。タクシー待機スペースが駅正面の一等地にありもったいない。駅利用者の利便を第一に考えるべきだ。	不自由な方、荷物の多い方等が利用される場合が多いことから乗場は現在地が適切であると考えています。また、タクシー待機場を広場内の別の場所に確保することが困難であるため移設は考えていません。	
(25) レンタカー、一時駐車場は駅前と、風紋広場を分断しているため形状も含めて再考を要する。	自家用車専用の乗降スペースを設置することに伴い、レンタカーと一時駐車場は移設することとしています。	盛込み済
(26) タクシー、自家用車の混在する現状より、分離したほうが交通安全面では、混雑解消となり好結果を得られるかもしれませんが、自家用車駐車場で犯罪行為が無い様照明をつけることや、誰かが見ているといった安全を確保することが必要だと思います。	実施設計において、現在設置されている照明も合わせ、利用状況を踏まえながら防犯対策の必要性を検討していきたいと考えています。	実施検討
(27) タクシープール出口について、方向指示器を出さない自家用車があり危険であるため、歩道を控えて、左折、直進、右折の3車線を作って欲しい。	計画案ではタクシープール出口部の車線を分けるように計画しています。詳細は実施設計において警察との協議を行い決定します。	盛込み済
(28) 自家用車専用レーンについて ・雨天時にも待てるように屋根と椅子を配置	自家用車専用レーン横の歩道部には景観阻害の要因となることから屋根の設置は計画していません。またベンチは歩行者や自転車の通行の妨げとなることから歩道内への設置は極力行わないこととしています。	対応困難
(29) 駅前の車寄せゾーン（一般車専用通路とタクシー専用通路に囲まれた部分）の半円の部分を単なる使用されない島にするのはもったいない。 タクシーに待機スペースが有る様に自家用車用にも、ラインに並べない車用の待機スペースに使うなど、何らかの可能性を有したスペースにしていきたい。 コンクリートでかためると、何にも使えなくなり、駅前の狭い上に大切なゾーンを無駄にすることになる。	交通島部分への自家用車待機スペースの設置は、長時間駐車の誘因になる恐れがあるため設置は考えていませんが、実施設計において有効利用の方策を検討したいと考えています。	実施検討
(30) 現計画では一般者専用のスペースが狭すぎる	社会実験の結果から8台分のスペースを確保する計画としています。	実施検討
<b>■バイク・自転車</b>		
(31) 不法駐輪対策、モラル向上の取締効果が手ぬるい。 →物理的に不法駐輪対策が無理ならば、市営の無料駐輪場を設けるべきでは？	鳥取市では、通行機能の円滑化と都市の美観維持をおもな目的とし、自転車放置禁止区域に指定し、放置自転車を警告・撤去しています。なお、市報へも自転車放置禁止区域について掲載し、意識の向上を図っていくこととしています。 また、鳥取駅高架下に市営自転車駐輪場（有料）を設置しており、受益者負担の原則から、市営無料自転車駐輪場を設置する予定は現在のところありません。	対応困難
(32) 自転車については無料で置く場所がないため、不便をきたしている。例えば 切符購入に向かうとき、不法駐輪と咎められ、さりとて15分程度で有料で駐輪場に係留するのめどうかと思う。不法駐輪にこりて無料駐輪スペースを設置しな	同上	対応困難

いのは『糞にこりて膾を吹く』の例えのとおりで市民の無公害の交通手段を奪うこととなっている。不法駐輪には別途対策を。		
(33) 二輪車用駐輪場は、大型二輪が容易に駐輪できるよう考慮してありますか。(広さだけでなく、傾斜、出入り口の幅など) 駅周辺には二輪用の駐輪場がないので、多数駐輪できるようお願いします	現在の駐輪場施設の利用の可能性について検討するとともに、その他の方策についても検討していきます。	長期課題
(34) レンタサイクル ・自転車をレンタルするときにお勧め観光コースなどの案内リーフレットを配る(観光客を意識したサービス)	現在、レンタサイクル利用申し込み時に鳥取市市街地図を配布していますので、併せて、案内リーフレットも配布することとします。	その他
<b>■歩行者・車椅子</b>		
(35) 駅正面出入口と地下道のエスカレータを直線的に結ぶアーケードを設置する	景観阻害の要因となることから駅正面出入口付近に新たなアーケード設置は考えていません。	対応困難
(36) 歩道は、現在のインターロッキングでなく、維持管理しやすいカラー舗装にした方が良い。	沈下、破損している箇所の修繕を行い、極力現状の施設を利用しコスト縮減を図ることとしています。	実施検討
(37) 自家用車専用レーンの横の歩行者の通路の幅を広く取っておく。	可能な範囲で歩道の幅を確保することとしています。	実施検討
(38) 地下道は駅玄関まで延長し駅と接続するのが望ましい。(資金的に困難か)	地下道の延伸は莫大な費用がかかるため困難です。	対応困難
(39) 社会実験をした横断歩道を設置する	社会実験の結果を踏まえ引き続き設置の必要性を検討していきます。	その他
(40) タクシープール出口から北側へ向かう横断歩道(駅前にぎわい実証事業)について、運転者から横断者が見えにくいいため設置してもらいたくない。	同上	その他
<b>■ケヤキ広場</b>		
(41) 鳥取駅北口西側の広場は、毎年秋になるとケヤキなどの広葉樹が色づきます。どの木も年月を経て大きく成長し、色づいた木々は壮観な眺めです。中心市街地の中であれだけのケヤキ群はほかにありません。わずかかもしれませんが、行きかう車やバスから排出されるガスやCO <sub>2</sub> を、あのケヤキたちが浄化してくれているかもしれません。駅のホームや列車内から眺めるケヤキも見事であり、鳥取県の玄関・鳥取駅にふさわしいたたずまいを形成しています。 これらのケヤキを、単にバスターミナルが目立たないという理由で間引くというのであれば、鳥取駅に慣れ親しんだ市民の一人として抵抗を感じます。計画では市民の憩いの場を創出するとありますが、間引くことで、かえって味気のない駅前になるのではないかと危惧します。 全国で味気のない簡素な高架駅がつけられています。国鉄時代に整備された鳥取駅は立派です。駅舎と駅前広場がコンセプトを持ってつくられたと感じています。その分少々不便はあるかもしれませんが、駅前に植栽されたケヤキを間引いてまで改善すべき重大な欠陥があるようには考えられません。駅からバスターミナルへの導線確保は、案内板の設置や床面への案内設置、最小限のバリアフリー工事など創意工夫によって改善すべき話で、伐採はすべきでないと考えま	ケヤキ広場は市街地には貴重な、季節を感じる事の出来る憩いの空間として、長年にわたり市民や駅利用者により親しまれています。このような広場が駅前に整備されている所は全国的にもめずらしく、鳥取駅の一つのシンボルとして大切に育てていきたいと考えています。広場造成当初のケヤキの管理の考え方として、成長状況に応じて間引いていき、最終的には10~20本に整理することで、さらに大きく力強い自然の樹姿に誘導していくこととしています。今回の検討の中でバスターミナルが見えにくい、広場内の見通しが悪く暗いといった意見もあり、低木は撤去し、当面12本程度のケヤキを間引くこととし、可能な限り移植したいと考えています。	盛込み済

す。 それでも間引きが必要であるならば、その合理的理由をきちんと示していただきたいと考えます。そして、伐採ではなく、どこか適切な場所への植え替えを望みます。		
(42) 駅からケヤキ広場の中まで見通せるように。。ケヤキ広場を明るくして、憩いの場となるようにしてください。	同上	盛込み済
(43) ケヤキの森の全部撤去	同上	対応困難
(44) ケヤキの森について、植栽が多くゴミの捨て場となっているため、植栽を全部撤去する	同上	盛込み済
(45) 樹木は、維持管理面とゴミを捨てにくくする面から低木は撤去した方が良い。	同上	盛込み済
(46) 西部分（ケヤキ部分）は人の流れ的に見て、バスターミナル利用者または、大丸利用者以外はほとんど通らないスペースかと思います。そこへ、ベンチを置いても今までとあまり変わりがないと思います。思い切って高速バス到着時はバスターミナル北側の国体道路に迎えの車が良く停車していることもあることより、自家用車駐車スペースは現在のケヤキ部分に設置したほうが宜しいように思います。または、現在のケヤキ部分をそのまま残すのであれば、人がそこに行きたくなるような仕掛けが必要です。たとえば、大型の電光掲示板による情報発信、鳥取をイメージ（鬼太郎、砂丘、カニ等）する、からくり時計、温泉プチ体験（泉とか足湯）、スペースが広いので、小さな子供たちが駅前の広場で遊びたいと思うような空間等、これからも長く愛される空間としての再生頂きます様、お願い致します。	高速バス利用客の送迎車の違法駐停車については、警察と連携して対応を行いたいと考えています。 また、今回の検討では新たなモニュメントや維持管理コストのかかる足湯等の設置は検討しないこととしており、バリアフリー化し、明るく利用しやすい雰囲気広場に改善することにより皆様に愛される空間に再生したいと考えています。	対応困難
(47) ベンチがあると座ってタバコを吸うので置かない方がよい。	ケヤキ広場は休憩のための施設であり、ベンチは必要と考えます。別途設置を計画している喫煙コーナーの利用を啓発するような表示の必要性については状況を見て検討したいと考えています。	実施検討
(48) 種々のイベントに利用できるように改造すること。ケヤキの間引きと同時に東西に分離された高台の部分を利用しやすい様にフラットにならし市民ならびに列車・バスの時間待ちの人達の憩いの場とする。	ケヤキの根が広範囲に成長していることが想定され、完全なフラットにすることは難しいと思われます。広場に立ち入りやすいよう可能な範囲でフラット化を行いたいと考えています。	実施検討
(49) 中央の低地広場からモニュメントを移動し、広場をより広く利用しやすいよう整地する。	ケヤキ広場のモニュメントは、人の生命と物のいのちがこの広場で永く共存し、鳥取市の限りない発展を祈念し製作されたものです。（鳥取駅高架事業記念誌より）利用しやすい広場となるよう実施設計において検討します。	実施検討
(50) 階段部分をバリアフリー化するのは賛成であるがツリーサークルは無くしたほうが利用には適している。	計画案において残すケヤキの周辺は、根を保護するためにある程度の範囲を現状の高さで残す必要があります。実施設計において可能な範囲でフラット化を行いたいと考えています。	実施検討
(51) ケヤキ広場内にLEDの足元灯を20基以上設置し、防犯上夜でも明るくする。なお、電源はソーラーとする。	防犯対策の観点からも夜間照明は必要であり、現在設置されている照明とあわせて実施設計において検討したいと考	実施検討

	えています。	
(52)ケヤキのライトアップで夜間の利用が促進されるようにできないでしょうか。	同上	実施検討
(53)西側広場には野外のカフェバーを設置し、市民憩いの場とする。 ・東側は時により利用方法を考えることとするが、周辺商店の協力をえて例えばワゴン販売の稼働店舗開設とうで市民の参加を誘う場とする。なお利用企画(イベント等)は市民の手で考えていく。(組織化する必要あり)	施設管理者がカフェバー等を設置することは考えていませんが、適正な利用が促進されるよう管理、制度面での見直しを検討したいと考えています。	その他
(54)鳥取駅北口広場再生計画の中で、ケヤキ広場の改善計画は、バリアフリー化したり、だれでも利用できるようにすることには、賛成です。できれば、ベンチやテーブルといった施設があったほうが、より親しみやすいと思います。	ケヤキ広場内にベンチを設置する計画としています。テーブルについてはスペースが限られているため設置が困難です。	盛込み済
(55)ケヤキは境界線くらいにし、中ほどのケヤキは間引き、広場内を広くし、ベンチやテーブルを設置。明るく開放的にする。	同上	盛込み済
<b>■喫煙コーナー、ゴミ対策</b>		
(56)駅周辺に灰皿ができてうれしく思います。駅へ人を迎えるに行ったとき、灰皿が無くて困ってました。何度か灰皿を使いましたが、何人もの人が使っていました。ポイ捨ても減ったのではないかと思います。できれば、雨よけが欲しいのですが。。。南口にも灰皿を置いてください。	・現在も試行設置中の喫煙コーナーは、観光案内板前の分煙と吸殻のポイ捨て対策のため、利用者の皆様の意見を伺いながら設置したいと考えています。なお、雨よけの設置は考えていません。 ・南口について、吸殻のポイ捨ての状況を観測し、設置の必要性について検討します。	その他
(57)喫煙場所について 喫煙者の立場として、現在置かれている灰皿は活用させていただいています。利用者を良く見かけていますので、周辺のたばこのポイ捨て防止につながり、それが鳥取駅周辺をきれいにするのに繋がっていると思います。継続して設置をお願いします。また、北口のみでなく南口にも設置検討をお願いします。	同上	その他
(58)喫煙場所の確保ですが、現在設置されている灰皿は、外観もよく、マナー向上にも役立っていると感じていますので、続けてもらおうとよいと思います。また、駅南口にもあるとよいのではと思います。	同上	その他
(59)喫煙所は案内表示を設置してわかりやすくする。また、喫煙所は観光案内板から離れた場所へ設置し、分煙対策をとること。	喫煙コーナー案内表示の設置を検討します。	実施検討
(60)正面の案内板の所に喫煙コーナーの看板を設置し、分煙化を図る。	同上	実施検討
(61)分煙対策、ポイ捨て防止対策の為の喫煙コーナー設置は大歓迎。但しゴミ箱も設置するべき。 →鳥取の観光玄関口の鳥取駅に、きちんとゴミ分別できるゴミ箱が無いのはおかしいのではないかと。	ゴミ箱についてはビン、缶、ペットボトルは自動販売機付近に回収箱が設置されており、それ以外のゴミは基本的に持ち帰っていただくか、駅を利用される観光客であれば駅ホームあるいは列車内のゴミ箱に捨てていただくことが可能	対応困難

	です。北口広場内に新たに設置することは考えていません。	
(62) 駅前の掃除をすることがあるがゴミが多くて困る。きれいな駅前にするために事業者と消費者、行政が一緒になって考えないといけない。	同上	その他
<b>■交流施設（風紋広場）</b>		
(63) 風紋広場のところも人の流れが変わるよう、コンサートなどの活用を図って欲しい。	風紋広場は開放的なフリースペースとして比較的新しく整備された施設です。今回の計画案では案内表示等を除く新たな施設等の導入等を行わないこととしていますが、適正な利用が促進されるよう管理、制度面での見直しを検討したいと考えています。	その他
(64) 風紋広場は現状で問題ありませんが、夏場のイベント時に、木陰が少なく、長時間の観覧は大変です	同上	その他
(65) 風紋広場については野外音楽場の性格を持たすため、反響板を設置することが望ましい。なお、砂像を設置するときは摺ひろば東側も良いと思われる。	同上	対応困難
(66) 風紋広場 ・休日にフリーマーケットを行う（春から秋） ・クリスマスシーズン（12月）にはツリーが設置してあるので、その時期にクリスマスコンサートを行う。 ・年間を通した有効活用を検討。	同上	その他
<b>■景観・シンボル施設</b>		
(67) 正面出入口付近について ・ヤナギや椎の木を移植し、桜を植える。構内をでて桜が咲いていたらキレイで見栄えがいいと思うから。また、夏は青葉がつくので季節感が味わえる。低木としてサツキやドウダンツツジなども配置し、季節感を出す。	駅正面出入口付近にはヤナギ2本と間にシイノキ、周囲にはアオキが植栽されています。計画案では出入口から地下道等周辺施設への見通しを改善するため、植栽帯の半分を撤去、ヤナギ1本とシイノキを移植、アオキは撤去することとしています。維持管理面から新たな植栽を行うことは考えていません。	対応困難
(68) 維持管理がかかるのでヤナギ、シイノキもなくなしたほうがよい。	同上	盛込み済
(69) 駅正面のヤナギの木が1本になっていますが撤去するのですか？せつかくあそこまで大きくなったのだから可能であれば移植を考えてください。	同上	盛込み済
<b>■観光・市街地拠点施設</b>		
(70) 正面出入口付近の見通しを確保し、観光案内スペース・・・ 観光案内板について少々ご意見を申し上げます。鳥取駅を出てまず一番先に見るのは案内板と思います。現在のものをもっと整理することが大切だと思います。それ以外に下記のように因幡のシンボリック案内板がほしいと思います。	ご提案の内容については、県と市が連携して統一感のある内容に整理していきたいと考えています。	実施検討



<p>(71) 観光案内板ですが、もっと鳥取の観光地をわかりやすく、魅力あるものにしてはどうでしょう(例えば立体模型の採用とか)。</p>	<p>案内板の目的を明確にして、わかりやすく魅力あるものに更新したいと考えています。(※立体模型等は実施困難)</p>	<p>実施検討</p>
<p>(72) (案内板は正面出入り口付近とバスターミナルに作る)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観光客がまず目を留めやすい位置に設置。        自動車バスか飛行機が主な移動手段なので、その付近に設置。</li> <li>正面出入り口付近は植樹の光景を邪魔しないようにタクシー乗り場を背にして設置する。また、案内板は両面で見られるようにする。そうすると、雨天時はアーケードの下で見ることが可能。</li> <li>バスターミナルに設置する場合は、バス乗り換え案内の近くがいいと思います。スペースがなければ、その周辺の樹木を撤去することも検討。そうすると明るくなると思います。        (案内板の工夫)</li> <li>今あるような現在地とか全体図はあまり場所をとらない大きさにする。実際、他県に観光にいてもあまり見ない。コンパクトに分かりやすく。また、観光マップだけにならないように、周辺施設案内に加えてイベント情報を発信するような掲示板みたいなものも作る。</li> </ul>	<p>案内板から発信できる情報には制限があるため、観光案内所やインターネット、観光パンフレット等、他の情報発信媒体の活用、及び駅構内の案内図などとの調整を図りながら、鳥取駅利用者の利便性を高める内容に見直したいと考えています。</p>	<p>実施検討</p>
<p>(73) 駅北だと、以前ラッキョウのプランターがあったが、観光客から「こんな場所で見れてよかった」と言われた。このように県を代表するようなものを置いて欲しい。大丸のところに、観光地図を出してあったことが、あれは好評だった。</p>	<p>同上</p>	<p>その他</p>
<p>(74) 正面出入口付近観光案内板のスペースによって、他の出入口が発見しにくい現状の改善をして欲しい。      →計画案では、具体的な変更位置が分らない。</p>	<p>計画案では駅正面出入口付近から地下道や周辺施設への見通しを改善するため、アーケード沿いに観光案内板の向きを変えて移設することとしています。</p>	<p>盛込み済</p>
<p>(75) 観光案内板は駅の正面にあって観光客にわかりやすいので今のままでよいのではないかと。</p>	<p>同上</p>	<p>対応困難</p>
<p>(76) 観光案内所の位置をわかりやすく</p>	<p>観光案内所の表示をわかりやすいものとする、及び観光案内板へ位置を表示することを考えています。</p>	<p>盛込み済</p>
<p>■その他の意見</p>		
<p>(77) 1. 県外からの観光客からは、駅南の山白川周辺部分や芝生周辺など紅葉が綺麗だと言って、写真を撮っていた。もう少しこのような場所もアピールしてもよい。大黒様の像のところも、近づくと童謡が流れるようになっているが、県外の人にはわからない。鳥取県が童謡ゆかりの土地だということ</p>	<p>・鳥取は、美しいと感じていただける街並みや美しい自然景観に恵まれていると思います。観光資源として発信していくことができる情報は、積極的に発信していきたいと考えます。</p>	<p>その他</p>

<p>をもっとアピールして欲しい。駅南のシェルターは傘のかたちをしているが、なぜ傘なのか、鳥取の傘踊りからイメージしているだろうが、それを知らない人が多いので、そのあたりもアピールして欲しい。</p> <p>2. 郊外の大型店に人が集まってきており、駅周辺に店がなくなってきた。駅に行く必要なくなってしまう。</p>	<p>・鳥取市では鳥取駅周辺を『人が集まり、ものや情報も行き交う高度化利用を進めるにぎわいある経済・交流の核』と位置づけ、賑わいの創出に向けた取り組みを行っています。</p>	
<p>(78)今回、北口の再生とのことですが、北口の西部分（ケヤキ部分）を含め、どういった、再生を行うのか明確にしておく必要があると思います。たとえば、以前より指摘されている不便部分を改善する、人の往来を活性化、情報発信を行う、交通緩和等、鳥取駅北口は鳥取の顔となる部分ですのでいろんな要素を含んだ再生を行って欲しいと思っています。</p>	<p>今回の取り組みでは駅前広場の交通結節点としての機能と、都市の広場としての休息、交流、観光、景観機能等の多様な観点から改善策の検討を行っています。</p>	その他
<p>(79)米子市、松江市を参考にしてほしい</p>	<p>参考にさせていただきます。</p>	その他
<p>(80)大きい照明塔が4基あるので電気代の安い小さいものにしてはどうか。</p>	<p>計画案では既存の施設を最大限活用することとしています。実施設計において現在設置してあるものを含めて検討します。</p>	実施検討
<p>(81)とにかく維持管理のかからないよう見直してほしい。</p>	<p>既存施設は最大限活用し整備コストを抑えるという方針に沿って、可能な範囲で維持管理経費を抑えられるよう実施設計において検討していきたいと考えています。</p>	実施検討
<p>(82)社会実験でわかったように、人が集まる工夫が必要。駅舎側の軒下に、オープン喫茶を設けられるような仕掛けや呼びかけが必要。</p> <p>・バス停へ向かう軒下に、テーブルを設置し、カフェなどを開けば、バス乗り場との距離感も解消されるのでは。</p>	<p>駅舎側の軒下はJR西日本の管理地ですので、ご意見があったことをお伝えします。</p>	その他
<p>(83)駅北口広場の東側にトイレを作って欲しい。</p> <p>トイレは、駅舎内シャミネ側にはあるが東側にはないのはおかしいと思う。</p> <p>駅を利用する歩行者や自転車の多くはワシントンホテル側を通る、また、自転車置場横の駅南につながる通路を通る人も多いため、駅舎東側にトイレがないのは大変不便である。駅舎内東側や広場の東側に作ればよいと思う。</p>	<p>今の段階では整備コスト、維持管理、防犯上等の理由により広場内にトイレの設置は困難です。トイレの設置については今回の取り組みとは別途に検討したいと考えます。</p> <p>駅舎内への設置についてはJR西日本にお伝えします。</p>	長期課題